

授業科目 神経系評価学実習

【担当教員名】 高木昭輝	対象学年	3	対象学科	理 学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
理学療法が対象とする神経系・筋系障害に対して、神経学、筋学と理学療法の臨床の知で蓄積されている評価学を自分で学生同士で体験することができる。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
1 理学療法が対象とする神経系・筋系障害の代表的な症状を病態生理学的に説明し、自分でその特徴を表現することができる。
2 自分で表現した特徴的な症状からどのような理学療法的評価をしたら良いかを説明することができる。
3 代表的な神経・筋の障害に対して、痛みを含む理学療法的評価の方法を列挙することができる。
4 他部門からの情報も考慮し、優先順位を含めて、評価順位を検討することができる。
5 これまでの情報から、理学療法的治療のために問題点を列挙できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		講義
2	神経系障害の代表的な障害を学生同士で体験する。 (1) (CVA, MS, ALS, Parkinson's disea	1, 2, 3, 4, 5	実習
3	同 上	1, 2, 3, 4, 5	実習
4	同 上	1, 2, 3, 4, 5	実習
5	神経系障害の代表的な障害を学生同士で体験する。 (2) (Guillain B 1, 2	1, 2, 3, 4, 5	実習
6	同 上	1, 2, 3, 4, 5	実習
7	同 上	1, 2, 3, 4, 5	実習
8	神経系障害の代表的な障害を学生同士で体験する。 (2) (Guillain Barret, SCI, Polio	1, 2, 3, 4, 5	実習
9	同 上	1, 2, 3, 4, 5	実習
10	同 上	1, 2, 3, 4, 5	実習
11	筋の障害の代表的な症状を学生同士で体験する。 1, 2, 3, 4, 5	1, 2, 3, 4, 5	実習
12	同 上	1, 2, 3, 4, 5	実習
13	同 上 1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4, 5	実習
14	自習または振り替え授業 1, 2, 3, 4, 5		
15	まとめ 1, 2, 3, 4, 5	1, 2, 3, 4, 5	実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	理学療法のとらえ方-clinical reasoning: 奈良 勲編集、文光堂			
参考書	理学療法技術ガイドブック：文光堂 理学療法マニュアル：南江堂 他にも紹介する。			
その他の資料	カラーで学ぶ解剖生理学：州崎悦子 他訳、医学書院 神経系理学療法：真野行生監訳、医歯薬出版			
【評価方法】	【履修上の留意点】			
授業貢献度、出席、発表、期末試験などを総合的				

理学療法学科 専門